

薬を飲みたがらない…

⇒無理強いせず、服薬しやすくなるように工夫しましょう

2022.6作成

【 認知症の人の状態 】

とよさと病院 認知症疾患医療センター

認知症になると、薬の管理がままならなくなります。高齢者は認知症以外の病気も患っていることも多く、数種類の薬を処方されていることがあります。認知症の人は記憶障害のため、**いつどの薬を飲めばいいのかわからなくなり、混乱**してきます。

病状が進むと、自分が病気であることがわからなくなったり、薬を毒だと思いついんだりする人もいます。また、薬を飲まなければならないことは理解しているけれど、錠剤が大きくて飲みにくい、苦いなど、形状や味が嫌で飲みたがらないこともあります。

そのようなときは無理強いせず、服薬しやすくなるように工夫しましょう。ただし、**勝手に薬に手を加えるのは禁物**です。必ず、医師や薬剤師に相談の上で、行いましょう。



【 対応方法 】

①自分で薬を飲めるけれど、どの薬をいつ飲めばいいのかわからない状態なら、服薬カレンダーや薬の整理ケースなどを使い、薬を仕分けしましょう。数種類の薬を1回分ずつまとめて**一包化**してくれる薬局のサービス（有料）を利用するのもおすすめです。

②薬を飲むこと自体を忘れる場合は、家族が**声をかけたり、都度確認**をしましょう。

③薬を飲みたがらないときは、医師に相談しましょう。薬の種類を絞る、同じ飲み薬でも錠剤をシロップにするなど、形状を変えたり、注射や貼り薬を使ったりするなどの**代替手段**もあります。

④薬を飲みにくいときは、**服薬ゼリー**などを使ってみましょう。また、薬を砕いて食品に混ぜる方法もありますが、砕いてはいけない薬や、食品の成分によって効能が阻害される薬もあるので、医師に相談しましょう。

⑤**薬は体にいい**ということを伝えましょう。家族がすすめても飲まなくても、**医師やヘルパーさん**がすすめたなら飲むなど、サポートする人が変われば飲む場合もあります。